

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会  
2024年度 事業計画書  
(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

2024年度の事業計画について、次の視点から策定する。

- 1 博覧会開催に向けた万全な準備
- 2 博覧会の機運醸成と入場券販売拡大に向けた取組
- 3 公式参加者への対応と支援
- 4 事務局体制の整備・強化と財政基盤の確立

主な事業については、以下のとおり

1 博覧会開催に向けた万全な準備

(1) シグネチャープロジェクトの具体化

- ア プロデューサーと協働してテーマ館の建築・展示の施工ならびにイベントの実施計画を完成させ、会期中の運営に向けた体制整備・スタッフトレーニングを実施する。
- イ ますますの万博の機運醸成を図るため、テーマ事業の進捗をウェブやイベントで発信する等、テーマ事業の効果的なPR活動を展開する。

(2) 未来社会ショーケース事業の具体化

ア スマートモビリティ万博

会場内外における人荷の輸送・移動等における未来技術の実証・実装にあたり、企業・団体等との連携をさらに強化し、事業を準備する。

イ デジタル万博

来場者体験の高度化や会場運営の効率化に資するデジタル技術の実証・実装にあたり、企業・団体等との連携をさらに強化し、事業を準備する。

ウ バーチャル万博

世界中から参加できるインクルーシブな万博の実現に向け、企業・団体等との連携を強化し、バーチャルコンテンツの制作を進める。

エ アート万博

会場の景観や歩径路などを、先進エンタテインメント技術の実証・実装する催事の場と捉え、引き続き企業・団体等との連携を強化し、事業を準備する。

オ グリーン万博

万博運営および経済活動全般における環境負荷低減技術の実証・実装にあたり、企業・団体等との連携をさらに強化し、事業を準備する。

## カ フューチャーライフ万博

会場内「フューチャーライフヴィレッジ」での取組を具体化するとともに、来場者が未来の都市や未来の食・ヘルスケア等を体感できる先進技術の実証・実装にあたり、企業・団体等との連携を強化し、事業を準備する。

### (3) 催事計画の具体的推進

ア 催事基本計画に基づき、万博に相応しい催事の企画内容を決定の上、その推進体制を構築し、実施に向けた準備を行う。

イ ナショナルデー及びスペシャルデーなどをイベントガイドラインに基づき、公式参加者（国・地域・国際機関）を募集し、それを推進する。

ウ 開会式実施計画の策定及び実施準備を行う。

エ 閉会式基本計画及び実施計画策定に向けた準備を行う。

オ 催事編成カレンダーの策定

### (4) テーマウィークの推進

ア 協会主催のテーマウィークプログラム「アジェンダ 2025」の実施に向けた準備を行う。

イ テーマウィークの全体事務局を設置し、主催者に加え、公式参加者、政府・自治体、共創事業参加者、出展企業などのテーマウィークプログラムも集約し発信する。

ウ 全国からテーマウィークの会場外関連プログラムとして参加できる「テーマウィークコネクト」の集約を進め発信する。

### (5) 会場整備

ア 会場施設の建築工事完了

イ 仮設インフラ工事の完了

ウ 環境影響評価書・事後調査計画書に基づく事後調査の継続実施

エ 会場内施設等の維持管理に関する発注、維持管理業務の開始

### (6) 来場者輸送対策の実施

ア 来場者輸送対策協議会にて、施設管理者や交通事業者等とともに輸送計画を具体化し、その推進を図る。

イ 来場者輸送具体方針に基づき、2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議において、関係機関と共に一般交通への時差出勤等の働きかけにかかる周知を図るとともに、試行を実施する。

ウ 交通ターミナル等の工事を完了するとともに、運営に向けた準備を進める。

(7) 企業・団体等の参加計画

- ア 企業・団体等は、ともにテーマの実現を目指すパートナーであり、これまでの万博よりも幅広い参加ができるよう、多様な参加メニューを用意することでより多くの参加を促す。
- イ 民間パビリオン出展参加者とともに、魅力あふれるパビリオンを実現する。
- ウ 催事特典など参加メニューに応じた個別特典を用意し、より多くの参加を促す。
- エ キャッシュレス決済及び EXPO 2025 デジタルウォレットサービスを効率的、効果的に運営する。
- オ 協会公式クラウドファンディングを実施し、万博への参加意識を高める。

(8) 持続可能性管理システム (ESMS) の構築と運用

- ア 持続可能性方針を踏まえ、個別の取組・指標及び万博全体の指標について検討・整理し、持続可能な万博運営に係る取組を具体化して、ESMS を構築・運用し、ISO20121 の認証を取得する。
- イ 物品やサービスの調達プロセスにおける持続可能性への配慮を図るため、持続可能性に関する基準や担保方法を定めた調達コードを運用する。

(9) 万博 ICT システム及び万博通信インフラの整備

- ア 万博 ICT-PF システムを安定的に運用する。また、データ利活用に向けて機能強化を行う。
- イ 会場内の情報通信インフラ構築を完了し、会期に向けて会場内ネットワークおよびデータセンターの保守運用を円滑に実施する。
- ウ 会場内での無線機利用に必要な手続き等を規定する万博会場内無線機利用にかかるガイドライン (運用編) を策定し、会場内の電波利用環境保護のための体制を確立する。

(10) 万博におけるサイバーセキュリティ対策

- ア 会期中の各システムの安定運用に向けたサイバーセキュリティオペレーション体制の構築および協会内外との連携強化を実施する。

(11) データ利活用に向けた取り組み

- ア 2023 年度に制定したデータ利活用ガイドラインに基づき、出展者等からの申請受付、データ連携基盤との接続を進める。

(12) 来場者サービス・会場管理の具体化

- ア 来場者サービスやサービス施設、サービス提供体制の検討・実施

- イ 情報提供サービスの検討・実施
- ウ ユニバーサルサービスの検討・実施
- エ ボランティアの募集・運営
- オ ペット同伴の検討
- カ アクレディテーションの検討・実施
- キ 清掃・廃棄物処理等、会場管理の検討・実施
- ク 営業施設の配置や事業収支の検討・実施、事業者の募集
- ケ 場内輸送の検討・実施
- コ 物流に関する検討・実施

(13) 危機管理体制の構築・実施

- ア 会場警備対策
- イ 災害対策
- ウ 医療救護対策
- エ 会場衛生対策
- オ 事業リスク対策

(14) 迎賓・接遇体制の構築・実施

- ア 賓客接遇の検討
- イ 迎賓館運営
- ウ 日本館との連携
- エ 賓客の警護体制

(15) 机上リハーサル/テストランの実施

- ア 机上リハーサルの実施
- イ テストランの実施に係る計画の策定

(16) 公式記録作成への取組

- ア 公式記録（書籍・映像）基本方針の策定
- イ 公式撮影業務委託の準備・募集
- ウ レガシーの記載

(17) 会期後の財産処分のための体制整備

- ア リユース・リサイクルのあり方検討

## 2 博覧会の機運醸成と入場券販売拡大に向けた取組

### (1) 戦略的PRの実施

#### ア 機運醸成委員会の取組

イ 協会IP（ロゴマークやキャラクター等）を活用したライセンス事業の展開

ウ アンバサダー、スペシャルサポーターを活用した機運醸成活動の実施

エ 公式テーマソングの認知・利用拡大

オ ラッピング車両などによる万博PRの拡大

カ 万博教育旅行誘致に関し、国・自治体と連携を図りつつ、取り組む。

キ 観光関係団体・事業者等と連携した国内外でのプロモーション活動に取り組む。

### (2) 機運醸成のための各種プログラム、イベントの実施

ア TEAM EXPO 2025 プログラムの推進

イ 自治体等と連携した機運醸成活動の実施

ウ 開幕1年前イベントなどの実施

エ ジュニア EXPO2025 教育プログラムの推進等、教育機関と連携した若年層への啓発の促進

### (3) 入場券・パビリオン予約に関する取組

ア 販売体制の構築・充実

イ 販売戦略の遂行

ウ パビリオン予約制度内容の決定

エ パビリオン出展関係者、公式参加者との調整

### (4) 広報活動の実施

ア 各種メディアを活用した広報の実施

イ メディアセンター、サテライトスタジオ及び会場内放送設備の準備・開設

ウ 公式Webサイト、公式SNS等での多言語展開による国内外への情報発信

エ 海外広報・プロモーションの促進

## 3 公式参加者への対応と支援

### (1) 公式参加者への対応

ア 万博の実施に向け、博覧会国際事務局（BIE）と連絡・調整を行う。

イ 昨年度に引き続き International Participants Meeting(国際参加者会議)を開催し、最新情報の提供や質疑応答を通じ、公式参加者の理解促進、出展準備の加速を図る。

ウ 公式参加者宿舎の申込受付・決定、宿舎管理・運営に係る準備を行い、2025年3月[一部2024年12月]からの円滑な宿舎入居を支援する。

エ 公式参加者支援のためのワンストップショップ（OSS）のさらなる機能強化を図るとともに、2025年1月にはOSSセンターを夢洲会場内に設け、公式参加者に寄り添った形での運営支援を実施する。

（2）途上国支援プログラムの準備・実施

ア 政府と予算協議を行いつつ、政府の委託等で関連事業を実施する機関（JICA等）とも連携し、支援内容の具体的プログラムの企画・調整を進め、公式参加者に対し情報提供を行う。また、途上国支援プログラムの対象となる公式参加者パビリオン等の展示内装工事や運営の準備作業を担う事業者を選定し、支援事業を実施する。

（3）展示・内装工事支援

ア 公式参加者パビリオンの展示・内装工事がスムーズに行われるよう支援する。

4 事務局体制の整備・強化と財政基盤の確立

（1）事務局体制の整備・強化

- ア 効率的・効果的な事務局体制の整備・強化、国・経済界・自治体などからの業務に応じた専門人材の確保等
- イ 会期中運営体制の構築
- ウ コンプライアンスの強化及び徹底

（2）財政計画の策定と予算の効率化・効果的な執行

- ア 博覧会基本計画に沿った資金の調達
- イ 予算執行段階における事業実施方法の検証、コスト削減
- ウ 収納債権管理体制の構築

（3）財政基盤強化に向けた具体的な資金調達

- ア 寄附金の募集・拡充に向けた取り組み
- イ 補助金等各種資金の活用